

生活者起点のリサーチ & マーケティング支援を行なう株式会社ネオマーケティングは、全国の20歳以上の男女を対象に「推し活」をテーマとした調査を1月17～19日の3日間実施。その結果を公開した。

調査の対象は、登録モニターのうち、全国の20歳以上79歳以下の男女で、推し活・ヲタ活を行っている人。有効回答数は1万04人。調査の概要は次の通り。

【現在、推している対象】全体では「実在の人物」が78.0%と最も多く、続いて2次元の「キャラクター」が

44.8%。推している対象に「人物以外のモノ」が24.8%と、昨今の多様化する「推し活」の状況を表す結果となった。

女性は、「実在の人物」に81.2%と集中している。

【これまでに行ったこと】「推し活」の内容

「インターネットで情報収集する」行動が全体の74.0%。グッズを扱う「ライブ」に参加する「公式ファンクラブ等に入会する」などの活動の割合が、それぞれ女性より3～7.8ポイント高い。

金額が下がっていく傾向にある。【推し活に費やしている金額(月平均)】全体の74.5%が月平均1万円未満。毎月約1万円を推し活に費やしている人は、推し活に費やしている金額(月平均)と同様、やはり年代が上がるにつれて減っていく傾向がある。

「推し活」リサーチ

7割以上が月1万円消費

「推し活」に関する場所へ訪問する「現地におもむき」推している対象を撮影する「コミュニティに参加する」などの活動の割合が、それぞれ女性より3～7.8ポイント高い。

【推し活に費やしている金額(月平均)】全体の74.5%が月平均1万円未満。毎月約1万円を推し活に費やしている人は、推し活に費やしている金額(月平均)と同様、やはり年代が上がるにつれて減っていく傾向がある。

「推し活」に特化した新商品

推し活シリーズ 5月12日に発売

キングジムは、「推し活」でもっとカラフルな毎日になるよう、「推し活」をコンセプトに、推し活アイテムシリーズ「Favourite(ファブラブ)」を立ち上げ、「コレクションバインダー」「コレクションスタンド」「コレクションアルバム」を5月12日に発売する。「ファブラブ」は「みんなに見せたいような推し活アイテム」という思いを込めて立ち上げたシリーズ。推し活仲間やSNSでシェアしたくなるようなポップなデザインと豊富なカラーバリエーションが特徴。各アイテムを組み合わせることで、便利に



ファブラブシリーズ

「コレクションバインダー」は、集めた写真や雑誌をきれいにコレクションできるバインダー。ミニサイズとレギュラーサイズの2サイズ展開で、イベントへの持ち歩きや家で保管用など、用途に合わせて使い分けが可能。推しのメンバーカラーに合わせて選べる8色を展開している。表紙と裏表紙のポケットには2つ折りカセットアルバムが入っている。写真を入れれば、大切なコレクションを保護しながら、自分好みに表紙のアレンジが可能。背表紙にはキーホルダーなどを付けられるチャームホール付き。

「ファブラブ デコレーションステッカー」は、各アイテムを組み合わせたことで、便利に楽しく使えるデザインが特徴。リボン、マジカル、フラワーの3柄×8色の全24種の展開で、推しの雰囲気やメンバーカラーに合わせてデザインを選べる。キラキラがかわいいホログラムシートを採用している。



文房具総選挙でPR

22品番59SKUのポリュウム LHIIT L.A.B.は、業界に先駆けて、様々な推しグッズの整理収納ができるアイテムを揃えた「推し活応援サライ」を昨年発表。文具市場に新たなカテゴリーを提案、販売好調で新規需要の開拓にもつなげている。

「ミリア」シリーズは、文具メーカーならではの整理収納ノウハウを盛り込んだファブアイテムを展開。商品開発にあたっては、アイドルの推し活を愛している女子社員が推し活グッズや収納方法も参考にするなど、ユーザーの声をアピルした。

人気のケプトで推し活アイテム レイメイ藤井は、クリアペーパーケースで人気の「ケプト」から推し活アイテム収納にも活用できる「マルチ収納ファイル&ファイル」と「ミニバインダーレカサイズ&ファイル」(昨年6月発売)が好評だったことから、「ケプト推し活コレクション2023」シリーズを今年2月下旬に発売し、推し活アイテムを拡充。インスタタ

貼るだけで華やかに仕上げる。ロコマークや販促用イラスト、デコレーションシールのデザインには推し活アイドルエンサールイラストレーターあさくさ氏を起用し、シリーズの世界観を演出。コレクションスタンドを除く総製品は、推し活応援サライやキャラクターカラーなどの色に合わせて選べる8色を揃えており、メンバーカラーに合わせたカラーコーディネートができる「ファブ」シリーズは、文具女子博の大阪会場では、「ミリア」シリーズ等アイテムを揃えて、推し活グッズをアピルした。

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

「推し活」部門が登場

文房具総選挙トレンドに

モトトレンド情報誌「Get Navii」及びウェブメディア「Get Navii Web」の2023年度(発売された新作文房具のナンバリング)の推し活アイテム部門「推し活」が今年3月下旬より投票を開始したが、今年度はトレンド部門に「推し活」はかかると文房具が新設されている。

同部門にアサインされたアイテム10点は次の通り。①LHIIT L.A.B.「ミリアうわわコレクションファイル」(うわわの持ち手

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

「ラン活」で話題に

ランドセルのサブスク開始

ランドセル事業を展開するコクヨ株式会社(庄山悟社長、大阪府)が新たに始めた国内初のランドセルのサブスク「ランセル」サービス「RANS」が価格高騰と前倒しが続く「ラン活」の新たな選択肢として今話題になっている。

総務省の小売物価統計調査によると、ランドセルの価格が3万3593円、2021年は4万9565円と、10年で約1万6千円の上昇している。価格の上昇に加えて、ランドセルを選ぶために店舗を巡ったり、カタログを取り寄せたりする「ラン活」の時期も前倒しになり、小学校に入

学する1年前の4月に始める家庭が最も多くなっているという。同社は今年2月に開始したランドセルのサブスク「RANS」は、往復送料無料・返却期限なしで、約250種類の中から選べる。月額契約プランなら毎月交換可能で、買い取りにも対応する。サービスの利用は月額定額制で、バリエーション豊富なサブスクの3種類のプランを用意。最も安価なバリエーションは1カ月990円(税

込で利用できる。同社は今後の展開について、「今までのランドセルの概念が『所有するもの』から『利用するもの』へと変わる。ランドセルサブスクは、今後は、顧客の要望に応えるために商品ラインアップの拡充やユーザーの意見を反映したシステムアップデートを順次進めていきたい」と話している。

オフィス用品の通販サービス「ナビリオン」(NAVILION)の最新刊「ナビリオン カタログvol.29」を、4月1日に発売した。最新刊の巻頭特集では、様々な利用シーンに応じたおすすめのアイテムをピックアップして紹介。「オフィスの健康」特集のほか、「キッズスペース向け商品」「観光施設向け商品」など、役立

バーチャル店を開店

羽田空港「コクヨドアーズ」

コクヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪府)は、羽田空港第3ターミナル駅直結の商業施設「羽田エアポートガーデン」内の直営店「KOKUYO DOOR」(コクヨドアーズ)のバーチャルショップを4月12日にオープンした。

「コクヨドアーズ」は、日本を訪れる海外の人に向けて、コクヨの、ひいては日本の文具の魅力に出会い、興味を持ってもらうきっかけとなる場所として、今年1月に羽田エアポートガーデン内にオープンしたコクヨの直営店。エ

バーチャルショップ内を自由に歩き回りながら、店舗の外観や商品との偶然の出会いを楽しんでもらうこと。実際の店舗に来られない人も「コクヨドアーズ」の魅力の一部を体験することができ、ポップアップ画面でより詳しい情報を取得することも可能。オンラインショップから実際に購入することも可能。

株式会社竹尾(竹尾桐社長、東京都)の東京・神田の見本帖本店で、4月20日～5月26日まで「日本タイポグラフィ年鑑2023作品展」が開催されている。同展は、NPO日本タイポグラフィ協会の主催で、国内外より募集した1933点の作品の中から選出したグランプリ、学生部門グランプリ、ベストワークなど高得点作品を一堂に展示している。

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

「ケプト推し活コレクション」のラインアップは、ミニぬいぐるみや小物などを収納できる「キューポーチ」やトレーディングカードをコレクションしてバックなどに付けられる「トレカカード」など、推し活を持ち運べるニューアイテムに加え、推しグッズの収納アイテムとしても活用できるA5サイズの「マルチ収納ファイル」と「メッシュポーチファイル」の新品を追加した。

ナビリオンの最新刊を発売

知られざる文具 アートの世界

株式会社高島屋は、文具を

株式会社ナビオン事務器(高橋俊泰社長、東京都)は、

株式会社高島屋は、文具を

株式会社高島屋は、文具を



ナビリオン最新刊

株式会社高島屋は、文具を

株式会社高島屋は、文具を